

3. 雇用者の就業形態

－非正規の職員・従業員の割合が減少－

- 雇用者(役員を除く)に占める「非正規の職員・従業員」の割合は36.5%で、男性は21.2%、女性は54.9%となっており、全国と同様に男女ともに低下している。また、全国平均(38.2%)と比べると1.7ポイント下回っている。(図6)
- 雇用形態別では「正規の職員・従業員」は男性44万9千人、女性21万3千人で、前回に比べ男女ともに増加している。「非正規の職員・従業員」は男性12万1千人(1万1千人減少)、女性26万人(8千人増加)となっている。(図7)
- 雇用者(役員を除く)に占める「非正規の職員・従業員」の割合について、男女、年齢階級別にみると、男性は「65歳以上」が70.3%と最も高く、次いで「15～24歳」(33.5%)となっている。女性は、全ての年齢階級で男性を上回っており、特に「65歳以上」が77.4%と最も高くなっている。(図8、表5)
- 若年者(15～34歳)の、雇用者(役員を除く)に占める「非正規の職員・従業員」は9万6千人となっており、平成14年からの推移を見ると減少傾向にある。一方、高齢者(65歳以上)は増加傾向にあり、前回に比べ2万4千人増加し、5万5千人となった。(図9、図10)

図6 雇用者(役員を除く)に占める非正規の職員・従業員の割合の推移
(平成14年～29年)

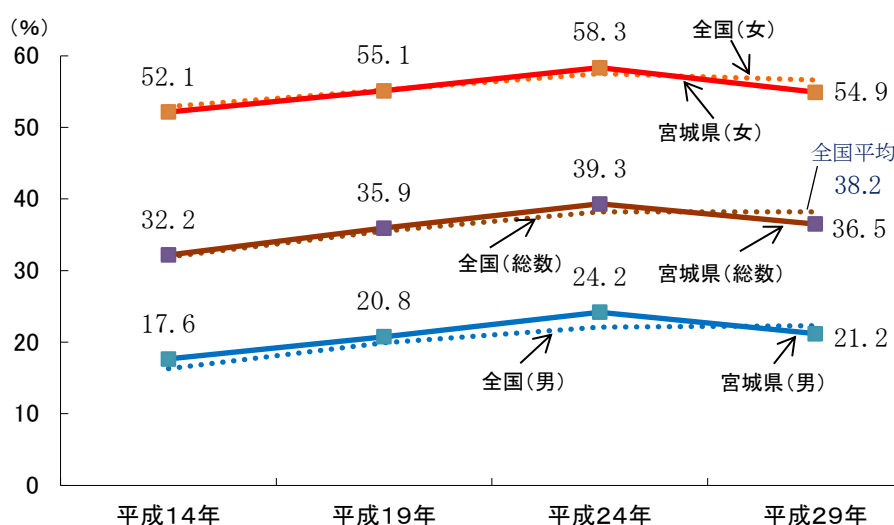


図7 正規・非正規別雇用者数の推移(平成14年～29年)

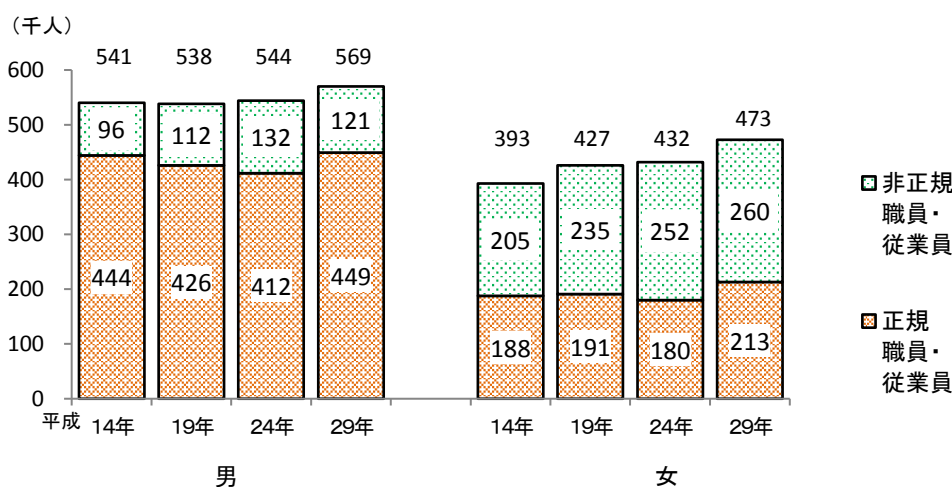


図8 男女、年齢階級別 雇用者(役員を除く)に占める非正規の職員・従業員の割合

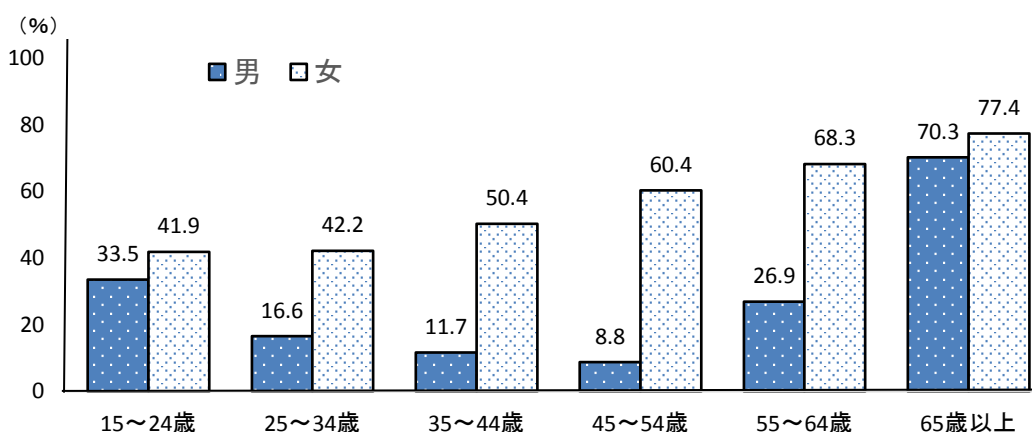


表5 男女、年齢階級別 雇用者(役員を除く)に占める非正規の職員・従業員数及び割合

(単位: 人、%)

区分		総数	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
男女計	雇用者	1,042,200	98,900	208,100	247,300	233,000	180,000	74,800
	非正規の職員・従業員	380,400	37,100	58,900	72,400	76,400	80,800	54,800
	割合	36.5	37.5	28.3	29.3	32.8	44.9	73.3
男	雇用者	569,100	51,600	112,800	134,700	124,800	101,700	43,400
	非正規の職員・従業員	120,600	17,300	18,700	15,700	11,000	27,400	30,500
	割合	21.2	33.5	16.6	11.7	8.8	26.9	70.3
女	雇用者	473,100	47,300	95,300	112,600	108,300	78,200	31,400
	非正規の職員・従業員	259,800	19,800	40,200	56,700	65,400	53,400	24,300
	割合	54.9	41.9	42.2	50.4	60.4	68.3	77.4

図9 若年者の正規・非正規別 雇用者数の推移 (平成14年～29年)

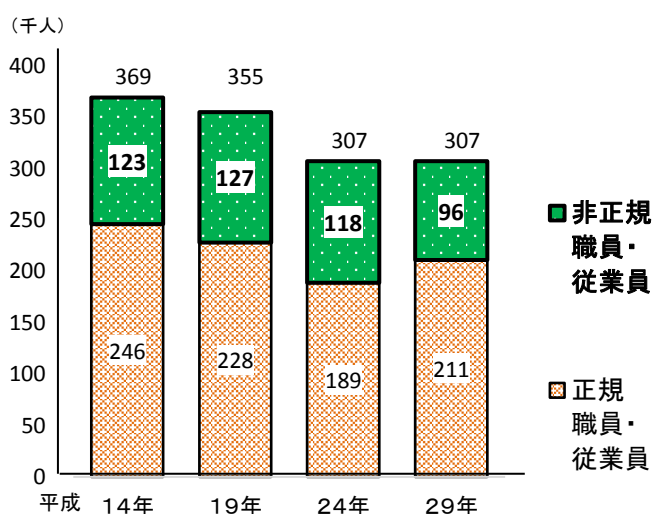


図10 高齢者の正規・非正規別 雇用者数の推移 (平成14年～29年)

